氏名	金村　尚彦	部署	大学院　理学療法学科	職名	教授
研究分野	基礎理学療法学，運動器理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	広島大学大学院医学系研究科				
経歴	平成20年4月　埼玉県立大学　講師　平成24年　同大学准教授　平成28年　同大学　教授　平成31年　同大学　大学院研究科長				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、米国神経科学学会、米国整形基礎学会、運動器理学療法学会、基礎理学療法学会（評議員）、軟骨代謝学会、専門リハビリテーション研究会（理事）、（公社）埼玉県理学療法士会（学会評議委員会），日本整形内科学会（理事）				

【2023年度実績】

1．研究業績

（1）著作

	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	運動器リハビリテーションに役立つFasciaのみかた・とらえかた	共著	あり	文光堂　p 221	金村尚彦、今北英高	2023年10月

（2）論文

	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Chronic Ankle Joint Instability Induces Ankle Sensorimotor Dysfunction: A Controlled Laboratory Study	共著	あり	○	The American Journal of Sports Medicine 10.1177/036354652312174	Sora Kawabata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuichiro Oka, Hidenobu Terada, Chiharu Takasu, Takuma Kojima, Takuma Kano, Naohiko Kanemura, Kenji Murata	2024年1月
2	The infrapatellar fat pad contributes to spontaneous healing after complete anterior cruciate ligament injury.	共著	あり	○	Experimental biology and medicine 248（20）1895-1904	Takuma Kano Yuki Minegish Hidenobu Terada Chiharu Takasu Takuma Kojima Yuichiro Oka Sora Kawabata Naoki Shimada Yuri Morishita Kenji Murata Naohiko Kanemura	2023年10月
3	Exploring the modification factors of exercise therapy on biomechanical load in patients with knee osteoarthritis: a systematic review and meta-analysis	共著	あり	○	Clinical Rheumatology 42（7）1737-1752	Moeka Yokoyama, Hirotaka Iijima, Keisuke Kubota,Naohiko Kanemura	2023年7月
4	Sex differences in the kinematics and kinetics of the foot and plantar aponeurosis during drop-jump	共著	あり	○	Scientific Reports 13(1) 10.1038/s41598-023-	Yuka Matsumoto, Naomichi Ogihara, Sachiko Kosuge, Hiroki Hanawa, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura	2023年9月
5	Mild treadmill exercise inhibits cartilage degeneration via macrophages in an osteoarthritis mouse model	共著	あり	○	Osteoarthritis and Cartilage Open 5(2)100359, https://doi.org/10.1016/j.ocarto.2023.100359	Yuichiro Oka, Kenji Murata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Takuma Kano, Naoki Shimada, Naohiko Kanemura	2023年6月

6	Muscle co-activation in the elderly contributes to control of hip and knee joint torque and endpoint force	共著	あり	○	Scientific Reports 13(1) 10.1038/s41598-023-34208-6	Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, Keisuke Hirata, Katsuya Onitsuka, Tsutomu Fujino, Naohiko Kanemura	2023年5月
7	【理学療法における橋渡し研究と臨床実践の融合】運動器疾患患者の理学療法における橋渡し研究と臨床展開の課題	共著	なし	○	理学療法　41（1）12-22	金村 尚彦, 久保田 圭祐, 鬼塚 勝哉	2024年1月
8	メカニカルストレスと理学療法―特集 運動器理学療法をどう捉えるか：統合的戦略で自らの思考の枠を乗り越える	共著	なし	○	理学療法ジャーナル 57(9) 1057-1063	金村 尚彦, 久保田 圭祐, 加納 拓馬, 森下 佑里, 岡 優一郎, 小曽根 海知, 峯岸 雄基, 村田 健児	2023年9月
9	変形性関節症に対する予防リハビリテーションの展望	共著	なし	○	(株)北隆館　38(4) 367-369	村田 健児, 金村 尚彦, 川端 空, 高須 千晴	2023年4月

（３）学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	中高年期ラットにおける自己治癒靱帯の力学的強度解析	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	森下 佑里, 高須 千晴, 加納 拓馬, 村田 健児, 金村 尚彦	2023年12月
2	トレッドミル運動は運動終板の変性を抑制し脱神経期間の延長による運動障害を改善する	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	峯岸 雄基, 小曽根 海知, 岡 優一郎, 佐藤 路晃, 加納 拓馬, 川端 空, 福田 京佑, 島田 直宜, 村田 健児, 金村 尚彦	2023年12月
3	歩行時の股・膝関節トルク変化から下肢筋活動のpreferred directionを評価できるか　若年成人・高齢者・変形性膝関節症者での検討	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	久保田 圭佑, 横山 萌香, 鬼塚 勝哉, 宮澤 拓, 平田 恵介, 塙 大樹, 藤野 努, 金村 尚彦	2023年12月
4	膝前十字靱帯損傷後早期の関節固定が与える自己治癒靱帯力学強度の変化	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	高須 千晴, 寺田 秀伸, 小島 拓真, 川端 空, 森下 佑里, 加納 拓馬, 金村 尚彦, 高柳 清美, 村田 健児	2023年12月
5	エストロゲン誘導分子応答に関わるハブ遺伝子の同定と軟骨細胞における発現・関連応答の調査	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	小島 拓真, 川端 空, 寺田 秀伸, 高須 千晴, 島田 直宜, 佐藤 路晃, 加納 拓馬, 金村 尚彦, 村田 健児	2023年12月
6	感覚神経の老化を予防する運動効果メカニズム　In silico解析を用いた生命情報学的視点からの推察	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	川端 空, 飯島 弘貴, 金村 尚彦, 村田 健児	2023年12月
7	超音波エコー動態評価の定量的方法の考案　特徴点抽出と追跡によるアルゴリズム	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	宮澤 拓), 久保田 圭祐, 平田 恵介, 塙 大樹, 佐々木 郁也, 藤野 努, 横山 萌香, 鬼塚 勝哉, 金村 尚彦	2023年12月
8	メカノレセプターへの慢性的な物理的ストレスの増加は形態の変性と力学的ストレス感受性の低下を導く	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	川端 空, 小曽根 海知, 峯岸 雄基, 岡 優一郎, 寺田 秀伸, 高須 千晴, 小島 拓真, 加納 拓馬, 金村 尚彦, 村田 健児	2023年12月
9	フィブリン糊を用いた末梢神経切断・接合モデル妥当性の検討	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	佐藤 路晃 福田 京佑, 島田 直宜, 小島 拓真, 寺田 秀伸, 峯岸 雄基, 村田 健児, 金村 尚彦	2023年12月
10	肺気腫症モデルラットに対する加圧酸素および運動介入によるヒラメ筋の変化	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	今北 英高, 西井 康恵, 白波瀬 未萌, 金村 尚彦, 藤田 直人	2023年12月

11	変形性膝関節症の進行を予測するバイオマーカーの探索	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	金村 尚彦, 川端 空, 久保田 圭祐, 村田 健児	2023年12月
12	片脚立位の安定期・不安定期におけるCOP制御に対する筋協調性の相違	共同	日本基礎理学療法学会　広島市	藤野 努, 塙 大樹, 宮澤 拓, 横山 萌香, 久保田 圭祐, 平田 恵介, 金村 尚彦	2023年12月
13	運動が関節軟骨に及ぼす遺伝子変化　バイオインフォマティクス解析による変動遺伝子の検証	共同	日本基礎理学療法学会　広島市	村田 健児, 川端 空, 金村 尚彦	2023年12月
14	膝蓋下脂肪体の変性は軟骨細胞の異化作用を亢進する　馴化培地を用いたin vitro検証	共同	日本基礎理学療法学会 広島市	寺田 秀伸, 小島 拓真, 高須 千晴, 川端 空, 島田 直宜, 二瓶 孝太, 高柳 清美, 金村 尚彦, 村田 健児	2023年12月
15	運動条件の違いがマウス生体内腱骨付着部に及ぼす影響　棘上筋腱・膝蓋腱・アキレス腱骨付着部での検証	共同	日本整形外科学会　筑波市	小曽根 海知, 峯岸 雄基, 金村 尚彦	2023年7月
16	前十字靱帯損傷後12時間以内に治癒応答は活性化する	共同	日本運動器理学療法学会 福岡市	加納 拓馬, 峯岸 雄基, 森下 佑里, 岡 優一郎, 小曽根 海知, 川端 空, 小島 拓真, 寺田 秀伸, 高須 千晴, 佐藤 路晃, 島田 直宜, 福田 京佑, 村田 健児, 金村 尚彦	2023年10月
17	関節不安定性を伴う膝関節疾患患者に対する装具療法の効果　システマティック・レビュー	共同	日本運動器理学療法学会 福岡市	村田 健児, 喜多 俊介, 川端 空, 森下 佑里, 横山 萌香, 久保田 圭祐, 金村 尚彦	2023年10月
18	健常若年女性のドロップジャンプ動作におけるパフォーマンスの違いが足部ダイナミクスに与える影響	共同	日本運動器理学療法学会 福岡市	松本 優佳, 金村 尚彦, 小管 倖子, 加納 拓馬, 荻原 直道	2023年10月

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	該当なし				

2．競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)	光遺伝学的手法と運動療法を併用した末梢神経損傷後の新規治療戦略の創出	研究代表者	2023.4-2024.3
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究	膝前十字靱帯断裂後の自然治癒靱帯強靱化に向けたメカニカルストレスの探索と検証	研究分担者	2023.4-2024.3
3	埼玉県立大学奨励研究費 （A）	マクロファージの挙動から末梢神経損傷に対する運動療法の治療メカニズムを解明する	研究代表者	2023.4-2024.3
4	埼玉県立大学奨励研究費 （科研費コース）	変形性膝関節症への運動におけるバイオマーカーの探索	研究代表者	2023.4-2024.3

3．教育業績

（1）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	運動学入門	〇	15	運動学入門の講義について，Webを介したビデオ教材を作成し，学生が復習できる環境を設置した。
2	臨床運動学	〇	30	動作分析や歩行分析における分析手法と運動学・運動力学的視点での分析方法と各疾患別の分析方法について実習を含めて解説した。
3	理学療法研究法演習		2	文献検索の方法や研究論文を読むために必要な統計学を解説した。

4	理学療法管理学		13	理学療法業務にあたり、管理に関する事項や医療保健動向やカルテに関する解説を行った。
5	障害基礎解析学特論	○	8	理学療法研究のおける解析方法について、バイオメカニクスの手法から組織学、分子生物学的分析方法の解説を行った。
6	理学療法症候障害論	○	4	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について解説した。
7	保健医療福祉学際英語		2	国際学会での学会発表においてのポイントについて、実例を交えて講義を行った。

（2）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	機能診断学実習		27	運動器疾患に関する整形外科テスト（下肢）について、運動学、解剖学を交えて実技を行った。
2	応用運動療法学実習		16	理学療法が対象とする運動器疾患についての評価や理学療法について実技を交えて解説した。
3	理学療法基礎解析学演習	○	15	理学療法研究に関する分析方法、組織学、生化学分析の手法について開設を行った。
4	理学療法応用技術学D(小児)	○	15	小児の発達と治療アプローチ方法について、実技を交えて実践した。
5	リハビリテーション学演習（障害基礎解析学）	○	8	理学療法研究のおける解析方法について、バイオメカニクスの手法から組織学、分子生物学的分析方法の実技を交えてや，最近の文献をもとに議論を行った。
6	理学療法症候障害論　演習	○	8	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について英文誌の読み解く演習と議論を行った。

（3）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅰ		2週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
2	臨床教育実習Ⅱ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
3	臨床教育実習Ⅲ		8週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
4	臨床教育実習Ⅳ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。

（4）論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2023.4-2024.3	主指導	2名	副指導	0名
2	修士論文	2023.4-2024.3	主指導（指導教員）	3名	副指導（指導補助教員）	2名
3	博士論文	2023.4-2024.3	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員）	2名

（5）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	藤リハビリテーション学院(非常勤講師)	2023.4-2024.3	脊髄損傷に対する理学療法の講義

4．社会貢献活動

（1）講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第28回日本基礎理学療法学会学術大会	日本運動器理学療法学会	運動器疾患に対する理学療法の効果検証　講師	2023年12月
2	第1回日本演奏芸術家医学研究会	日本演奏芸術家医学研究会	大会長	2023年7月

（2）国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	社団法人　日本理学療法士協会	編集委員会　委員	2021.4-現在に至る
2	基礎理学療法学会	編集委員会　委員	2021.4-現在に至る
3	社団法人　日本基礎理学療法学会	学会評議員	2021.7-現在に至る
4	埼玉県理学療法士協会　学会運営審議委員	学会運営審議委員	2020.4-現在に至る
5	専門リハビリテーション研究会	理事	2020.4-現在に至る
6	日本整形内科学会	理事	2022.4-現在に至る
7	第12回日本運動器理学療法学会　準備委員会	副大会長	2022.7-現在に至る

（3）ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

（4）その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5．学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会	2022～2023年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学運営連絡会議	2022～2023年度
3	全学的委員会及びセンター業務等	研究評価委員会	2022～2023年度
4	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会	2022～2023年度
5	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会	2022～2023年度
6	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会	2022～2023年度
7	全学的委員会及びセンター業務等	有害物質管理責任者（全学）	2022～2023年度
8	全学的委員会及びセンター業務等	実験動物室 管理者	2022～2023年度
9	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験室　共通棟西１０５　管理責任者	2022～2023年度
10	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会　動物実験部門	2022～2023年度

6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7．特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8．特記事項

1	該当なし